

# 月3回以上の店休を実施 ホール内節電と合わせ28%減

東日本大震災に関してホール業界の対応を協議するため、ホール5団体代表者会議が4月25日、東京・市ヶ谷の遊技会館で開かれ、4月11日の同会議の討議を受けて、今夏の節電対策について「輪番休業」を柱とする合意文書(別掲1)を作成した。ホール5団体の合意は「東日本大震災による今夏の電力供給不足に対する対応について」と題され、①夏季に25%以上の電力削減 ②7月1日から3か月実施 ③月3回以上の輪番休業で15%削減、照明及び空調で13%以上の削減を実施する、としている。会議には全日本遊技事業協同組合

連合会、社団法人日本遊技関連事業協会、一般社団法人日本遊技産業経営者同友会、一般社団法人余暇環境整備推進協議会、一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会の5団体から代表者、幹部が出席した。

東日本大震災による今夏の電力不足に対して、政府は電気事業法27条に基づく強制措置により、大口需要者に7月から3か月前年比25%の削減を検討しており、小口需要者は20%、家庭15%の努力目標設定しようとしている。その後、一定の緩和も想定されているが、ホール5団体は社会に対する真摯

な姿勢を明確にするために、今回の決定を行った。

また、3月28日に合意していた当面の東電管内のホールの自粛(照明、広告など)について、状況の変化を踏まえて内容を改定し、改めて合意文書(別掲2)をPCSAを除く4団体で作成した。

## 効果も大きい店休

これに先立つ4月11日のホール5団体代表者会議は、節電の具体策を検討するために開かれ、冒頭ホール5団体小委員会環境実務者会議から以下の節電対策への報告があった。

▽東京電力管内のパチンコ店は4000店舗。2009年8月の管内パチンコ店のピーク需要電力は84万キロワットと推計され、最大1500万キロワット不足が予想される中で、寄与できる部分は小さいが、業界一丸となって実効性の

ピーク時の消費電力削減(平日10時~21時)

対象	具体策	削減率	累計
照明	外壁の照明を終日消灯	1.0%	1.0%
	ネオン、看板、電光掲示板等、宣伝用の照明を消灯	1.5%	2.5%
	ホール内の間接照明を点けない	1.0%	3.5%
	自動販売機の照明を24時間オフモードにする	0.3%	3.8%
	ホール内の照明を50%間引き(意匠照明100%)	4.2%	8.0%
空調	エアコン(冷房)を2℃上げる	5.0%	13.0%
	さらに2℃上げる	5.0%	18.0%
その他	自動販売機24時間オフ	0.5%	18.5%
	景品冷蔵庫24時間オフ	0.1%	18.6%
	事務所空調24時間オフ	0.4%	19.0%

ある節電計画を立てるべきである。▽節電の具体策として、一つは電気使用カットがある。削減率(別表)によると、すべての項目を取り組むと19%の削減が可能となる。しかし、実現性の難しい項目もあるので、その19%に達しないケースも考えられる。〈削減率は、(株)環境経営戦略総研が自社データ及び全日遊連のアンケート実数から試算し、ホールの実値を参考に修正したもの〉

▽削減方法の二つ目は営業時間短



東日本大震災により、今夏の東京電力管内の供給電力が必要電力に対して不足すると予想されていることから、当業界では、夏場の電力需要ピーク時の瞬間使用最大電力を削減するため、4月25日開催のホール5団体代表者会議で下記の通り合意した。

記

1. 趣旨  
東京電力管内において、今夏に電力供給不足が予想されることから、東京電力管内のホールにおいては、25%以上の電力削減を行う。
2. 実施期間  
平成23年7月1日から9月30日まで
3. 実施事項
  - (1)ホールは月3回以上(平日)の輪番休業を実施し、15%を削減する。
  - (2)照明及び空調については13%以上の削減となるよう以下の項目を組み合わせる。
    - ア 外壁照明の終日消灯
    - イ ネオン、看板、電光掲示板等照明の消灯
    - ウ ホール内の間接照明を点けない。
    - エ 自動販売機の照明を24時間消灯
    - オ ホール内の照明を50%間引き
    - カ エアコンの設定温度を2度上げる。
  - (3)その他LED照明への変更等に努める。

平成23年4月25日

全日遊連 理事長	原田 實
日遊協 会長	深谷 友尋
同友会 代表理事	高濱 正敏
余暇進 代表理事	宮脇 義介
PCSA 代表理事	加藤 英則



日遊協の第1次ボランティア隊は4月20日石巻市へ。家具や泥を搬出する作業に取り組んだ(右から2人が白石良二ボランティア隊総隊長)

さる、平成23年3月28日に合意した、東日本大震災に伴うホール4団体合意の各合意事項については、4月25日開催のホール5団体代表者会議の協議の結果、ホール4団体は、以下の内容に改定することとし、全国のホール経営者に協力を要請することいたしました。

記

1. 被災県(「被災県」とは岩手県、宮城県、福島県、茨城県の4県をいう。以下同じ)及び東京電力管内においては、ネオンや屋外広告塔等の終日消灯を当分の間、延長して実施する。なお、それ以外の地域においては、各地域の対応とする。
2. 被災県及び東京電力管内においては、広告宣伝は、当分の間、自粛を延長する。なお、実施内容については、各地域の対応とする。
3. 被災県及び東京電力管内においては、遊技機の入替申請等の各種申請については、各都道府県警察の業務の状況を鑑み、それに適切に対応するため、個別に協議・要請していくこととする。
4. 献血活動に積極的に参加する。
5. パチンコ・パチスロ業界を挙げて、被災地への義援金活動に取り組むこととする。

平成23年4月25日

全日遊連、日遊協、同友会、余暇進 代表者名

縮。需要ピークは午前10時から午後9時と想定され、開店時間を遅らせる以外に方法がない。三つ目は、輪番による店休。節電努力として分かりやすく効果も高い。4000店舗、1か月に平日20日間で算出した場合、削減効果は、

- ・月1回 (平日1日に200店休む) 5%
- ・月2回 (平日1日に400店休む) 10%
- ・月4回・週1回 (平日1日に800店休む) 20%

この報告を受けた代表者会議は、節電の効果、社会へのアピール、

経営のあり方などさまざまな角度から検討し、東京電力管内で大幅な電力使用削減を目指し、7月1日から9月末日まで輪番店休を含め、並行して日常的な電力消費の削減を続けるという方向を決めていた。

## 「保証業種」に認定を 海江田大臣に申し入れ

中小企業庁は3月23日、東日本大震災の影響を踏まえ、平成23年度上半期のセーフティネット保証(5号)の対象業種を原則全業種(82業種)に拡大すると発表した。その中にパチンコ・パチスロ店は含まれなかった。そのため、ホール5団体は4月25日、海江田万里経済産業大臣に「東日本大震災に伴うセーフティネット保証(5号)に関して業種からの除外を解除する陳情について」という申し入れを文書で行い、パチンコ・パチスロ店も指定業種とするよう陳情することを決めた。

セーフティネット保証(5号)とは、中小企業庁が指定した全国的に業況の悪化している業種で、かつ売り上げが一定程度減少している中小企業者を対象に、無担保保証などの保証を認定する制度だ。

# 石原都知事に 「訂正を」を要望 使用電力の発言に対し

4月10日に再選された石原慎太郎東京都知事が、当選後の記者会見で「パチンコと自動販売機を合わせて1000万キロワット近い電力が消費されている国は日本以外ない」などと発言したことに對し、東京都遊技業協同組合（原田實理事長）は4月12日、「ご発言に関する訂正のお願いについて」という文書を石原都知事あてに送

った。内容は東京電力管内での全遊技場の最大出力は84万キロワットであること、節電にも取り組み前年比20%以上の削減を達成していることを述べ、発言の訂正を求めている。

石原都知事は15日にまた「べらぼうな電力を使っている。パチンコ店は真夜中にやればいいし、自販機は店で買えばいい」と発言した。ホール5団体は18日、この発言に對し「当業界に対する一連のご発言について(要請)」（別掲3）という文書を作成し、業界の使用電力の実態と節電努力を記し、東京都庁へ申し入れを行った。

ホール5団体の石原東京都知事に対する申し入れ

別掲3

東京都知事 石原新太郎殿

ホール5団体代表者名（略）

選挙時における知事の発言について（要請）

前略 貴殿におかれましては、先般の東京都知事選挙におきましてご当選されましたことをお慶び申し上げます。

さて、最近の報道によりますと、貴殿は、選挙当日の記者会見等の場において、「パチンコ屋がやっている電力の消費は450万キロワット。・・・福島原発が供給している電力とほとんど同じ」との趣旨のご発言を繰り返しなされております。

しかしながら、今回の電力供給不足で削減が課題となっておりますのは、ピーク時の最大使用電力であります。

東京電力管内には約4,000店舗のパチンコ営業店舗がありますが、そのピーク時の最大使用電力は2009年8月の推計で約84万キロワットであり、経済産業省におきまして試算しておる今夏の最大使用電力6,000万キロワットに比べますと、1.4%の割合に過ぎません。

今夏に予想される未曾有の電力供給不足につきましては、私どもパチンコ営業者団体としてもこの事態を真剣に受け止め、他の産業に後れを取ることなく節電に向けた取り組みを行っております。国の指導方針に沿うべく、従前から実施しております照明・空調等の節電の層の強化に加え、東京電力管内における計画的な店休日の設定についても、その具体的方法について現在協議中であります。

パチンコ産業は戦前から80年の長い歴史を有し、売上高21兆円と、国民的大衆娯楽としての地位を確立しておりますが、私どもはその地位にふさわしい役割と責任を果たすべく、今回の大震災におきましても、被災者の方々への各種ボランティア活動に加え、業界全体として20億円を超える義援金を集めることを予定しておる他、節電計画についても前述のように対応しているところであります。

貴殿におかれましては、私ども業界の、このような現状を十分にご理解・ご認識され、今後ご発言賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## 日遊協が「継続的ボランティア」

# 汗まみれの第1次8人 2泊3日で家具搬出など

東日本大震災被災地の復興作業のため、日遊協ボランティア派遣隊の第1次派遣チーム8人が4月20～22日の2泊3日の日程で宮城県石巻市に移動した。隊長は同派遣隊総隊長でもある白石良二氏（株）千歳観光（日遊協理事）。今

回は東京都・関東支部が中心だが、5月以降、他の支部からのチームが毎回4～8人単位で順次派遣されていくことになっている。

第1次チームが派遣された4月20日当時は、新幹線などの鉄道が復旧していなかったため、一行は

レンタカーで東京を午前9時前に出発、仙台市経由で約6時間半かけ、午後3時半過ぎに石巻市災害ボランティアセンター（石巻専修大学5号館）に着いた。同日は夕刻まで被災地を視察し、仙台市で1泊した。翌21日、同センターの手配に従って午前9時から午後4時ごろまで、被災家屋からの泥、家具の搬出作業を行った。3日目の22日も午前9時から昼過ぎまで家具の搬出作業を行い、夜間に東

京に帰着した。メンバーの一人は「人生観が変わるほどの衝撃的光景と経験だった。仙台での出発時に、地元の人がわれわれの車に深々とお辞儀され、感謝の言葉をいただいた。胸が熱くなり、志が高揚した」と語っていた。

第1次派遣チームのメンバー（白石隊長以外）は次の通り。（順不同、敬称略）

阿施浩行、白石達郎（以上、NE XUS株）、篠崎大、向後衛（以上、

(株)ヒノックス、藤森寛之(ピーアークホールディングス(株))、玉田英伸(昭和商事(株))、呉折彦雄(事務局)

## レジオネラ症などへ対策

石巻地区では東日本大震災後、レジオネラ症と破傷風の感染が確認されており、日遊協は派遣チームに対し感染予防に細心の注意を払うよう要請している。レジオネラ症は津波が運んだ泥が乾燥して土ぼこりになり、その中にレジオネラ菌が含まれていると吸い込むことで発症し、肺炎などを引き起こす。また、破傷風菌は傷口から体内に入って感染し、筋肉の硬直、けいれん、呼吸困難などの症状に進む。

このため派遣チームに対しては、日遊協側が作業服・ヤッケ上下、ヘルメット、ゴム手袋、防塵マスク、ゴミ袋、救急箱一式を用意し、一方メンバー各自には軍手数枚、ゴム長靴(できるだけ底の固いもの。靴底が鉄板入りなら最適)、ゴーグル、雨具(かっぱ)、タオル・着替え、



### 現地に車1台を常備

また、派遣チーム

「ボランティア保険」に加入する。

携帯灰皿(喫煙者のみ)、健康保険証・印鑑などを準備するよう求めている。参加メンバーは事前に「ボランティア参加同意書」に押印する。日遊協は参加者について



4月20日、石巻市のボランティアセンター前に第1次派遣隊が到着した(左から、向後衛、箱崎大、玉田英伸、阿施浩行、白石良二、白石達郎、藤森寛之、呉折彦雄のメンバー)

の機動性を高めるため、日遊協が中古車を1台借り上げて仙台に常備しておくことになった。(10~15ページ「明日を拓く」に関連記事)

## ボランティア隊員を募集 復興作業へ各支部に要請

日遊協は東日本大震災被災地の

復興作業に日遊協ボランティア派遣隊の派遣を決め、4月6日、派遣隊のメンバーを募るため各支部宛に協力をお願い文を発送した。

支部ごとに派遣隊メンバーを募り、5月以降から順次、石巻市を中心に汚泥・家具等の撤去作業にあたる計画となっている。各支部は派遣日程、要員が決まったら日遊協本部に連絡する。

### 4~8名、石巻地区へ

支部宛の派遣要領(原則)は次の通り。

- ①日程：5月以降に2泊3日
- ②派遣先：宮城県石巻地区中心
- ③募集人員：各支部4名以上8名以内(男性に限る)
- ④集合場所：日遊協東北支部
- ⑤費用等：仙台までの交通費は各社負担。現地での交通・宿泊・食事等の費用は日遊協負担。

- 5月の石巻ボランティア予定。
- ▽8日(日)~11日(水) 中部支部
  - ▽11日(水)~13日(金) 北海道支部
  - ▽12日(水)~14日(金) 中部支部
  - ▽17日(火)~21日(土) 九州支部
  - ▽18日(水)~20日(金) 北海道支部
  - ▽24日(火)~26日(木) 近畿支部
  - ▽31日(火)~6月3日(金) 中部支部